



数字で考える クルマのリサイクル



123

456

789...



公益財団法人
自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

日本中で使われているクルマが何台あるか知っていますか？

クルマは有益な金属・部品等を含む資源の塊です。
長年使い、使用を終えたクルマを地球環境に負荷を与えることなく資源として無駄なくリサイクルしていくことは地球に住む私たちの大切な役割です。



自宅にあるクルマだけでなく、タクシーやバスにトラックなど私たちの生活に欠かせないんだ

約274万台/年

使用を終えたクルマの台数
(使用済自動車発生台数)



役割を終えたクルマはほとんどリサイクルされているんだよ



約439万台/年

新車販売台数(新車時預託台数)



約8,096万台

国内流通台数 (リサイクル料金預託済台数)

8,000万台以上のクルマが日本中で活躍しているよ!

約152万台/年

中古車輸出台数(輸出抹消登録台数)



平均使用年数



クルマを長く使うことはユーザーの大切な役割でもあるよ

日本の中古車が世界各国に輸出されているんだね

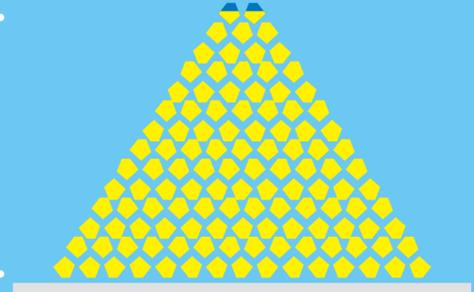
仕向地別輸出台数*



*出典:財務省貿易統計の輸出品目からJARCが独自に条件を設定し抽出・集計
その他の数値については政府審議会資料よりJARC作成 ※数値は2022年度実績

シュレッダーダストのリサイクル率

約97%

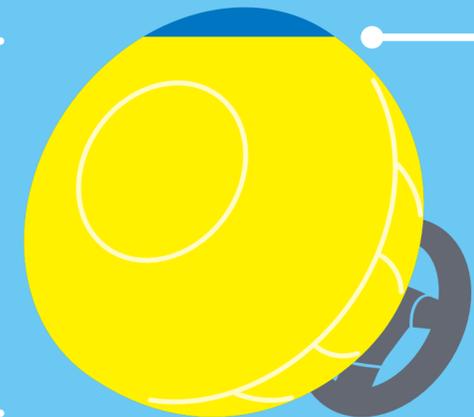


クルマ1台当たりの
シュレッダーダスト重量

平均189kg/台*

エアバッグ類リサイクル率

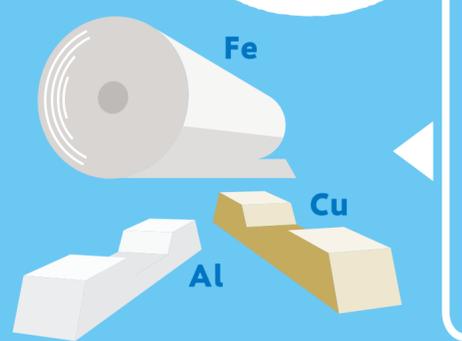
約95%



シュレッダーダストもほとんどがリサイクルされているんだね。さらにリサイクル率を上げるための技術研究が進められているよ！



エアバッグに含まれる鉄、銅、アルミなどの金属は再び資源にリサイクルされるよ！



金属類は原材料に戻して様々な製品に使われます。

残ったシュレッダーダストは、リサイクル料金を使ってさらに原材料に戻したり、熱源として再利用します。

残った車体などはシュレッダー機で粉砕されます。

まだ使える部品は、中古部品として流通されます。

リサイクル料金を使って、エアバッグを取り外して処理します。

リサイクルのしやすさを意識したクルマがつくられています。

クルマを買うとき、リサイクル料金を支払います。

ユーザーは愛車を長く大切に乗ります。修理のとき、リサイクル部品を使うようにします。

リサイクル部品を使うことのメリット

- 環境負荷低減
廃棄物の削減、エネルギー使用の抑制につながる。
- 経済性
新品部品よりも値段がお得。

ユーザーは使わなくなったクルマを引取業者に引き渡します。

リサイクル料金を使ってフロン類を回収して無害化します。

世界に誇れる!
Japan Model
ジャパンモデル

自動車リサイクルの流れ

自動車リサイクルは様々な人の努力と工夫で成り立っているよ！私たち自動車ユーザーにも大切な役割があることを知っているかな？

リサイクル料金

約6,000
~18,000円

ユーザーはリサイクル料金を支払うという大事な役割があるんだね。他にも、リサイクルしやすいクルマを選ぶことなどできることがあるんだね！

リサイクル料金を使って処理する3物品

フロン類



カーエアコンに使用されるフロン類は、オゾン層破壊や地球温暖化など環境に良くない影響があるので、回収し無害化します。

エアバッグ類



エアバッグ類には爆発性のあるガス発生剤が使われているので、安全に取り外します。

シュレッダーダスト



クルマから有用な部品や金属資源などを回収した後のプラスチックやゴムなどをシュレッダーダストといいます。

クルマ1台当たりのフロン類回収量

約209g/台*

みんなが支払ったリサイクル料金を使って、きちんと処理されているよ。

*HFC(ハイドロフルオロカーボン)の実績 ※数値は政府審議会資料よりJARC作成(2022年実績)

未来まで クルマと資源を バトンパス

第6回「クルマのリサイクル作品コンクール」
標語の部 最優秀賞作品



クルマのリサイクルをもっと見てみよう！

▶動画でみる



<https://www.jarc.or.jp/kenngakukai/>

▶WEBでみる



<https://www.jarc.or.jp/recycletown/>

▶冊子でみる



<https://www.jarc.or.jp/data/other/prtool/>

▶データでみる



<https://www.jarc.or.jp/data/databook/graph/>

発行者

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号
日本自動車会館11階

発行日：2024年4月

<https://www.jarc.or.jp>



お問い合わせ窓口(コールセンター)

電話番号：050-3786-7755

受付時間：9:00-18:00(土日祝日・年末年始等を除く)

